

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立安岡小学校

学年での指導体制と交流活動の充実

学年共通の指導体制や様々な交流活動を通して、安心して、希望をもって学校生活をスタートさせる。

学年全体の教員の連携による一貫した指導体制

うしろの たなの おきかた



教室後方の棚の使い方を示し、物を整えて入れるように促します。

年度初めには、引き出しの中の道具の入れ方を、毎朝、黒板に掲示しておきます。



すいえいの やくそく(おわり)

・ぼうし、ゴーグルをみずぎに はさんで、シャワーを あびる。
(あたま、おなか、せなか、おしり、あしを あらう。)



- ・タオルで からだをよくふく。
- ・だまって、きょうしつにもどり、きがえる。
- ・みんなが きがえおわるまで、きょうしつからでない。

水泳の学習が始まる前には、学活の時間を使って、各学級で、共通の注意事項を指導しておき、ルールが徹底するようにします。

成果

○入学後、ものの置き場や片付け方などを掲示物で分かりやすく示すことが、安心して学校生活をスタートさせることにつながっていた。

○学年全体で一貫して共通の指導をすることで、全クラス(5クラス)同じ歩調で習慣付けたり、ルールの徹底につなげたりすることができた。

幼児、異学年、異年齢との交流活動の充実



3年生児童による絵本の読み聞かせを、集中して聞くことができました。

幼児との交流会で、玉入れやダンスをして楽しく関わることができました。



地域の方を先生として招き、昔遊びの指導をしていただきました。

成果

○人との出会いや、関わることの喜び、学校生活の楽しさなどに気付くことで、希望をもって学校生活初年度をスタートさせることができた。

○異年齢との交流活動を通して、自分の成長に気付いたり、憧れの気持ちを抱いたりすることで、自信や意欲を高めることができた。

学習環境の整備と授業の工夫

子どもが安心して学べる学習活動を構成する。

幼児教育との接続を意識した授業や環境構成の工夫

勝山小学校 スタートカリキュラム 1週				
【第1週目】	【第2週目】	【第3週目】	【第4週目】	【第5週目】
4/10	10日(4/11)	20日(4/12)	30日(4/13)	
行事	入学式	12:00下校	3日間のちの日 12:00下校	
<p>【勝山小スタートカリキュラム】各週のねらいを設定し、生活科を軸とした指導や、学年合同の活動、ひらがなの指導順等を記載した。</p>				



歌や手遊び、絵本の読み聞かせなどを取り入れた「わくわくタイム」を実施した。

登校してすぐにすべきことを黒板に絵で掲示し、理解を促した。



明るく分かりやすい掲示を心がけた。(給食当番をどの組も列車で楽しく掲示すること、子どもの作品や季節に応じた絵本を掲示することなど)

成果

学校独自のスタートカリキュラムに沿って、入学日から全ての学級で足並みをそろえながら、同じ指導を進めていくことができた。生活科を中心とした、合科的・関連的な指導(学校探検など)を中心に、児童が楽しみながら分かりやすく学ぶことを仕組んだ。

保幼小の連携を生かした学び



園児との交流会では、学校での一日を紹介する際、算数ボックスを使った遊びや学習の仕方について優しく教える様子に、自分の成長を感じている姿が見られた。



「あきのおもちゃランド」に招待した時には、一人ひとりに役割をもち、活躍させることができた。

成果

各園と定期的に、また必要なときに情報交換をしながら、心身の成長過程や指導方法についての理解を深めることで、児童が学校生活に慣れるように指導することができた。また、学校での様子を見てもらえることにより児童が得るものが大きかった。